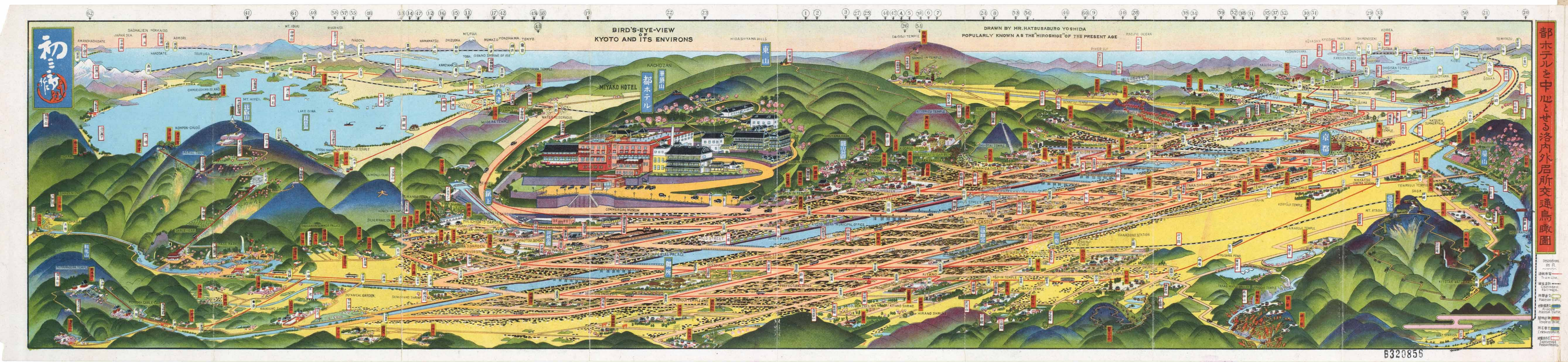
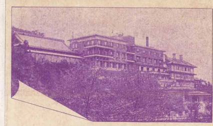


B320855



御宿泊及御食事のこと

御一泊の料金

歐式
御一名室 四圓―八圓 同上風呂付 拾圓―拾四圓
御二名室 八圓―拾貳圓 同上風呂付 拾四圓―貳拾圓

米式
御一名室 拾圓―拾四圓 同上風呂付 拾六圓―貳拾圓
御二名室 廿圓―廿四圓 同上風呂付 廿六圓―卅貳圓

▼歐式と申しますのは御食事なしの事で、米式と申しますのは御食事附の事で御座います。

▼一週間以上の御滯在には、御割引を致します。

御食事

一、御朝食 貳圓
一、御晝食 參圓
一、御夕食 參圓
一、御茶 五拾錢

▼特に御急ぎの御料理又は特別の御注文は、グリル室にて承ります。

都ホテル

千年の歴史を紫翠の煙霞に包み、靜かに交はる老杉巨松の間より、塔や甍の參差する京洛の美觀は、世界の絶勝中でも、敢て屈指に漏れるものではありますまいかと思ひます。

都ホテルは、東山の中腹に位ひし、右には幽邃閑雅な三十六峰に隣り、左には淡い霞を透ふして畫のやうな京洛が浮び出てます。

京都では、紅塵を絶つた洛東の一帶が、千古の傳説挿話を語る名所や舊蹟の淵叢であり、同時にまた、商賈軒を連ねたる繁華の中心へも、直ぐ手が屆きます。都ホテルは斯く、天然と人工とに惠まれたる景勝の地點にあります。

實に京都は、御大典の聖地であり、我が國の學園であり、又行樂の舊都でありまして、春夏秋冬常に感興の盡くる處を知らざるものがあります。故に、明媚秀麗の山水に對して構想せらるる詩人達や學者達や、又は阪神に多忙なる一日を送られて、夕に紅楓翠柳の徵薰を樂まる、政治家達や實業家達にも、或は又背嚢を負ふて勝域史蹟に杖を引かる、健脚の方々にも、團欒の家庭を率ひて數日の清遊を試みらる、縉紳にも、一寸得難い安息地點といはねばなりますまい。

都ホテルは、惠まれると共に酬ひなければなりませぬ。總ての設備は、舊都に適はしい限りを盡さねばならぬと存じます。精々御利用下さいまして、彌が上にも、設備の完成を遂げしめて頂きたいと存じます。

謹みて皆樣方の御健康を祈り奉ります。

BK1
291.62
Y86